



開校95周年

学校だより

教育目標： ちょうせんする子 心ゆたかな子 きたえる子

令和6年7月19日
No.5（夏休み直前号）
江東区立第三砂町小学校
校長 浅野 努



大好きがいっぱいの「にじいろの学校」

校長 浅野 努

（前略）「こどもたちが、自分の意見をしっかりと述べるができるんです。大勢の人の前で、代表で話をする時でさえ、事前に原稿を用意することなしに、自分の感想をその場でまとめて、それもすごくいい話をしてくれるんです！」これは、浅野校長先生が本校のこどもたちのよさについてたくさん紹介してくださった中で、話されたことです。

（中略）江東区では、昨年度より「Speak Up プログラム」という、こどもたちの話す力を高める取組を行っています。（中略）日頃から先生方が、こどもたちにとって失敗を恐れずに発言しやすい「心理的安全性」を高めていること、先生方自身が挑戦することを大切にしていることが、こどもたちの挑戦する気持ちにつながっているのです。

今日、授業を見ていると、どの教室の授業を見ても、先生方がとても楽しそうに授業をしていて、先生方がこどもたちのことが大好きだということが、笑顔や言葉、教室の雰囲気からも伝わってきました。当然、浅野校長先生も本校のこどもたちが大好きで、今一番の「推し」は、「三砂っ子」だそうです。それでは、こどもたちはどうかというと、何人かのこどもたちに聞きましたが、どの子も「三砂小、大好き！」と即答でしたし、中には「先生、大好き！だって面白いもん」と答えてくれる子もいました。本校のこどもたちが伸び伸びと、自分の意見を述べ合い、認め合うことができているのは、このこどもたちや先生方の「大好き」がベースにあるのですね。

多様性の尊重を大切にしている本校では、様々なところで「にじいろ」を見かけます。一人一人の個性が生き、「みんなかがやく」本校は、まさに大好きがいっぱいの「にじいろの学校」だと思いました。



『教育長の学校日記』から抜粋
全文と写真は、このQRから →



今月5日、江東区教育委員会の本多健一郎（ほんだ けんいちろう）教育長が来校されました。式典や運動会、研究発表会等ではない「いつもどおりの学校」を教育長が訪れる……このようなことは校長7年目になります。初めてのことでしたので驚くと同時に、『教育長の学校日記』でこどもたちや教職員が褒められているのを読み、とても嬉しくなりました。

同様に、本校では運動会や学校会のアンケートをはじめ、様々な場面で保護者や地域の皆様から温かいメッセージが学校に届きます。それらを励みに教職員は「もっと楽しい授業をしよう!」「三砂っ子のために頑張ろう!」という前向きな姿勢になります。月並みですが、4月から今日まで本校の教育活動に御理解・御協力をいただき誠にありがとうございました。



明日から38日間の夏休み——。今朝こどもたちには伝えましたが、熱中症や事故・けがに注意して912時間後に笑顔で再会できるのを楽しみにしています。それでは皆様、よい夏休みをお過ごしください。

今年は「夏休みの作品展」を公開します！



夏休みにこどもたちが取り組んだ作品を展示する「夏休みの作品展」を公開します。期間は8月27日（火）～30日（金）を予定しています。平日昼間の開催となりますが、お時間がありましたら、ぜひお越しください。詳しくは後日<すぐ>にてお知らせします。